六甲山の豊かな自然とイワクラを守り、未来に残すための署名

▲イワクラは神社の元宮、文化遺産です。守りましょう！▲

私たちの郷土の象徴である六甲山は、四季折々の美しい景観を提供し、多くの市民や観光客に　やすらぎや癒しをもたらしてくれておりますが、この六甲山は、古来より「神の山」と称され、貴重なイワクラがいくつも点在しておりました。　**しかし、高度成長期以降、保養所、別荘、ゴルフ・遊園地などの開発により、豊かな自然やイワクラ等が次々に破壊され消失しており、私たちは強い危機感を抱いております。**

またさらに　昨年末、神戸市灘区六甲山町「三国岩」に隣接する広大な土地に学校が建設されるというニュースがあり、この学校建設のため、令和８年１月より工事が開始されるとのことを知りました。（学校名はノースロンドンカレッジスクール　略称「NLCS」）こうして　豊かな六甲山の自然や貴重なイワクラが　つぎつぎに消失されかねないあやうい状態が続いております。

私たち「**六甲山の自然とイワクラを守る会**」は、六甲山のイワクラの保存や清掃活動を 30 年以上続けてきました　NPO 法人・古代遺跡研究所を母体として結成された市民団体です。

六甲山の自然やイワクラは　一度失われれば二度と元に戻すことの出来ない貴重な財産です。

つきましては、下記の点につき、強く要望いたします。

記

１：六甲山の大規模な開発、および小規模の開発について、自然環境への影響を十分に検証し、慎重な判断を行い、森林伐採や土地改変を伴う事業については、環境保全を最優先とした基準を厳格に適用する事。

２：六甲山の山中に点在する貴重なイワクラは、太古から私たちの先祖が大切に守ってきたかけがえのない文化遺産ですので、そのイワクラの存続を図り、後世に継承するよう万全の方策を実行する事。（以上が、行政当局への要望の趣旨です）　なお、この北座には、かつて対となる東の磐座が存在していました。すなわち陰陽一対で構成されていたものが、昭和初期に東側が破壊され、現在は西の磐座のみ残されているのです。**磐座は破壊されれば二度と復元できません。**この貴重な文化遺産を保護し、後世に引き継ぐことは私たちの責務です。六甲山の自然破壊をやめ、これ以上開発の許可をださないよう、磐座の存続を確保するための行動を求める署名にご参加をお願いします。どうか皆様の一筆をお寄せください

＊氏名、住所は郡や町名などを省略せずに、一人ひとり明記を。同上　〃は無効です

名　前	住　　所

六甲山の自然とイワクラを守る会
NPO 法人　古代遺跡研究所
住所：〒662-0053　西宮市松園町１５－２２
事務局長　中田　裕之